

えりも町議会

議会だより

平成29年2月1日

No. 20



【祝成人式】

新年あけましておめでとうございます。
本年も読みやすい議会広報を目指してまいりますので
よろしくお願いいたします。

「冬のえりも」らしからぬ良い天气に恵まれた1月9日、えりも町福祉センターで成人式が行われました。今年、39名の方が成人を迎え、思い新たに大人として歩き始めます。

2P 平成28年12月定例会
条例改正・補正予算他

4P ズバリ！えりもの
ここが聞きたい

8P 所管事務調査報告

10P 「この人に聞く」
蔵本洋介さんにインタビュー

えりも町議会第5回定例会

補正予算

◎一般会計、既定予算に2800万円を追加

○第3回臨時会

- ・8月台風の流木除去作業 32万円
- ・ヤキベツ川改修工事費 307万円
- ・えりも高校野球場ダックアウト災害復旧工事 ▲180万円

・えりも高校野球場フェンス補強工事 340万円

○第4回臨時会

- ・人事院勧告による人件費増 445万円
- ・出生者増による児童手当の増額 29万円
- ・庶野小学校浄化槽内壁工事 43万円

○第5回定例会

- ・マイナンバーカードの交付事務に関する委託交付金 121万円
- ・デジタルテレビ難視聴対策費 49万円
- ・庁舎清掃臨時職員賃金 61万円
- ・臨時福祉給付金 1125万円
- ・心身障害者対策費 1761万円

◎国民健康保険

特別会計補正予算

- ・一般保険者高額療養費 877万円

◎診療所特別会計

補正予算

- ・医薬諸費備品購入費 73万円
- ・外科代診医師報償費 963万円

人事

○えりも町固定資産評価審査委員会委員の選任

・えりも町字庶野

丸山 政利(66歳)

※平成28年12月22日で任期満了の為。

特別委員会

・複合施設建設に関する事項について機能的・効率的に審査又は調査を行う事を目的とした「複合施設建設特別委員会」が設置されました。

○複合施設建設特別委員会

委員長 川村一治

条例改正

○えりも町職員の勤務時間・休暇等に関する条例の一部改正

・国が人事院勧告及び子育て両立支援制度勧告等に伴い、関係法令を改正したことに準じ、当町においても同様の改正を行うもの。

○えりも町職員の育児休業等に関する条例改正

・国の育児休業法改正の意見及び、勤務時間法改正・児童福祉法の改正を受け、当町の条例の一部を改正するもの。

※前段の給与条例の改正及び、勤務時間等の条例改正は、従来から国公準拠(人事院等の専門的な体制)によって制度設計されている公務員の給与(制度)の観点から人事院規則を参考にしながら、国の関係法令の改正に準じ、えりも町においても同様の改正を行うもの。

意見書

○地方議会議員の厚生年金制度へ加入を求める意見書

・町村では議員の立候補者が減少し大きな問題になっている。地方議会議員の年金制度を時代に相応しいものにするのが議員を志す新たな人材確保につながる。と考え、厚生年金制度加入のための法整備を実現するための要望書。

○大雨災害に関する意見書

・北海道では、昨年8月の台風による集中豪雨により浸水被害及び、道路・鉄道の決壊や土砂災害また、定置網・養殖施設の水産被害など、全道各地で甚大な被害が発生し、住民の暮らしや経済活動に多大な影響が生じている。住民が一日も早く安心して元の生活が取り戻せるよう早急な災害復旧と今後の防災対策に向け特段の配慮を強く求める要望書。

○JR北海道への経営支援を求める意見書

・JR北海道は発足当初から、国の経営安定化基金により経営を維持し、積雪寒冷地という気象条件も重なり、設備の維持管理には多額の費用が必要である。国において、地域住民の日常生活に重要な移動手段である鉄道を北海道において公共交通機関としての役割を發揮できるよう、JR北海道の経営が自立できるように財政支援等を求める要望書。

※主な提出先

・衆議院議長・参議院議長
・内閣総理大臣・財務大臣
他関係省庁担当大臣



進まない東洋地区の護岸決壊箇所

【謹賀新年】

酉（とり）年を迎えて

えりも町議会議長 成田 一人



今年の干支は、丁酉（ひのと・とり）です。酉の由来には、「果実が極限まで熟した状態」という意味合いがあり、また、酉年は「政変の年」ともいわれられています。

昨年のえりも町の経済を支える漁業にあっては、昆布魚は地域的にばらつきはあるものの、生産高・金額ともに大幅に前年を下回り、秋サケ魚も漁獲量が前年の5分の1以下となる記録的な不漁となりました。本年以降の町内経済において深く憂慮するところであり

さて、国の内外を問わず激しい変化の時代であり、地方自治を取り巻く諸情勢もまた厳しいものがあります。我が国の激動する社会情勢にあって、地方自治体は産業や福祉など様々な課題に直面し、我々町議会に對しても、時代の潮流を的確に捉え、個性豊かな地域社会を形成することが求められています。

本年におきましても山積する課題がありますが、その解決に向けて町議会として全力で取り組んでまいりますので、町民の皆様におきましても、さらなるご支援・ご協力をお願い申し上げます。

ズバリ！えりもの ここが 聞きたい

一般質問は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動の場です。町政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。



鈴木勇高議員

問 ゼニガタアザラシ基金を

答 基金創設は難しい

問

鈴木議員

ゼニガタアザラシと漁業を共生するため、国が補償について法制

答 産業振興課長

化するまでの間、全世界の人達から、年一人・千円を集め、百万人・金額で10億円を目標とし、資金が集まったら財団法人に移行するものとして、町が主体になって世界の人達に呼びかける考えがないか。

り、テレビ放送で全国各地でイベントを実施しても10億円には達していない。環境省としては、被害防除対策をしており、町としては、あらゆる機会を通じて、国に対して被害補償制度の創設を要望している。

環境省では、本年度からえりも地域でゼニガタアザラシ管理計画に基づき、被害防除対策とともに、個体群管理を実施し、100頭を目安に、定置網捕獲用の格子網を設置して、捕獲する事を試みたが、目標の半分程度だった。質問にある国による漁業被害補償制度ができるまでの間、町が主体となって保護基金を創設し、漁業補償をするとのことだが、「一人・千円・年10億円」の目標としているが、一町村が募金を集める額としては、難しい額であ

問 えりも岬にビジターセンターを

答 林野庁と連携し協議していく

問 鈴木議員

は、ビジターセンターとして町が建設し運営する考えはないか。

襟裳岬は世界有数の自然公園である。えりも岬レストハウス跡地を利用して、博物館又

答 産業振興課長

森林管理署としては、平成29年度に活用化計画を策定し、平成30年度に事業実施となる、「レクリエーションの森」を全国100か所選定する事業として、えりも岬の国有林も選定を目指している。この事業と連携して実施できるハード事業があり、条件が合えばレストハウス再建にも活用できるのではないかと森林管理署から話があり、観光協会と協議を進めている。旧レストハウス跡地での博物館を建設することは、町として考えていない。



北広島市のレクリエーションの森ビジターセンター
体験学習や研修施設も兼ね備えている

問 合葬墓の開設を

答 住民の意思を問う



近藤一郎議員

問 近藤議員

前回の答弁の中で、

合葬墓の開設について
難点とされていた課題
として、公営の合葬墓
では、宗教行為を含ま
ない事と、遺骨を個人
で分別せず、まとめて
埋葬する抵抗感がある
とのことだったが、合
葬墓の開設を希望する
町民の方からは、前段
のような課題よりも、
子や孫に後々負担を掛
けたくないという切実
な思いのほうが強有感
じられた。

八雲町では本年7月
1日より、八雲町合葬
墓条例が施行され、生
前予約・墓じまいを含

め、約半年で25件の埋
葬・生前予約がされて
いる。使用については、
八雲町に住所のある方
町外の方の使用も可能
で、生前予約が可能で
あり、特別料金を払う
と記名することも可能
である。

八雲町民の声として、
「孫や子供に将来、墓
守の負担を負わせるこ
とが無く助かる。」と
の声が多く、当町の合
葬墓を求める要望と同
様の理由ということが
印象的だった。

合葬墓を開設するこ
とによって、生前予約
を行い、今までに無かつ
た選択肢を選ぶことが
可能であると思う。ま
た、町外転居や墓を継
ぐ人がいない事により、
維持管理されなくなっ
た無縁墓は、雑草がは
びこり、汚れ、墓地全
体の景観を損ね、撤去

する際も一墓地埋葬に
関する法律」に則った
手続きが必要である。

管理者が遠方で、管理
しなければならぬとい
思いつつも実行できな
いジレンマを持っている
人は多いと聞く。

当町も人口の減少が
進み、人手不足・高齢
化が懸念される中で、
葬送観の変化に合わせ
ながら合葬墓という選
択肢を増やし、町民全
体で維持管理していく
べきと考えるが、埋葬
方法の新しい選択肢と
しての合葬墓の開設に
ついてどのように考え
ているのか。



沖縄地方の合葬墓 ゆいま〜るとは、沖縄の方言で、協働との意味

答 町民生活課長

今回の質問の前段に、
合葬墓について町民か
らの反響があったこと、
合葬墓の開設を希望す
る町民の切実な思いが
感じられたことが述べ
られているが、私ども
担当課には、合葬墓に
関わる町民からの問合
せ等は、これまで1件
も無い。

しかしながら、前回
答弁したとおり、生活
様式や社会環境が大き
く変化してきた現在、
合葬墓を含む今後の墓
地のあり方については、
検討していかねばなら
ない問題であると、担
当課として認識してい
ることに変わりはない。

合葬墓の開設につい
ては、将来的に必要な
選択肢の一つになりう
ると考えてはいるが、
あくまで町民のニーズ
の高まりが必要である
と考えている。加えて、
合葬墓を開設すること
が、その地域が抱える、

墓地に関わる諸問題の
解決策と、密接に結び
ついたものであること
が理想であり、最善で
あるとも考えている。

再質問 近藤議員

町民の意見を聞く場
として地区別懇談会な
どがあるが、参加人数
も少なく、町民の声を
聞く体制が不十分では
ないのか。地区別懇談
会に高齢者で車に乗っ
て来られない方や、時
間等の都合で行けない
方などもある。また町
民アンケート等を行う
にしても周知をしっか
りしないといけない。

町民生活課で電話等
の対応をしてくれるの
か。

答 町民生活課長

町民生活課では、合
葬墓にかかわる部分以
外にもその他の業務を
兼ねてやっているの
で、現在、墓地に関わ
る町民意識を把握し、
今後における当町の墓
地行政の方向づけを
図るため、町民アンケ
ー

ト等の検討から進めた
いと考えている。
また、維持管理され
なくなった無縁化した
墓についても、今後、
問題化する可能性もは
らんでいる。
具体的な検討策とし
て、現在、墓地に関わ
る町民意識を把握し、
今後における当町の墓
地行政の方向づけを
図るため、町民アンケ
ー



石川昭彦議員

問 役場駐車場の混雑解消を

答 駐車スペースの確保に努めていく

問 石川議員

役場庁舎の駐車場が狭く、一般の来庁者が駐車スペースを捜しているのをしばしば見かけるが、路上駐車や高齢者の事故の原因にもなりかねない。駐車場の拡張、または一般来庁者のスペースを確保して町民に不便をかけるないようにすべきではないのか。

答 総務課長

様々な会議や研修会、健診などで駐車場が大変混雑していることもあることは確認しているが、駐車場の拡張については周辺に用地が無く難しいと考える。一般来庁者用の駐車スペースを設けることについても駐車場の使用を一部制限することになる。公用車をこまめにしまうなどして駐車スペースの確保に努めていく。



大坂庄吉議員



役場庁舎の駐車場の様子
繁忙時には満車になってしまう

再質問 石川議員

駐車場の一部を2階建てにしているかどうか。

答 総務課長

難しいと思うが試算したいと考える。

問 シーニックバイウェイを活用した観光振興を

答 他団体の動向を注視する

答 産業振興課長

交通が弱い。宿泊キャンプが小さいなどと言われる反面、手つかずの自然や観光資源があるなど魅力的なところもある。いずれにしても観光の販路拡大をしていかなければ、日高の観光やえりもの観光が遅れをとっていくのではないかと。幸いにも、豊似湖への観光客が増えつつある中で、シーニックバイウェイ北海道制度についての取り組みで観光振興が更に深まっていくと思うが見解は。

シーニックバイウェイ制度は、行政ではなく地域が発案主役となって活動するもので、コース指定の地域では、商工会や観光協会など、民間が事務局を持ち、主体的に活動を進めている状況である。そのため、日高管内においても研修を行うなど管内の商工会連合会において、取り組みを継続するとしている。町としては、進捗状況を見守りたいと考えている。

問 大坂議員

北海道の観光が人気と言われている昨今、日高の観光については観光客入込数の推移は減少しているように感じる。観光客の旅行形態を見ても団体客より夫婦や家族旅行、友人・知人などに変わってきているように思われる。印象についても公共



シーニックバイウェイ北海道とは？

地域と行政が連携し、景観や自然環境に配慮しながら、地域の魅力を「道」でつなぎながら個性的な地域、美しい環境づくりを目指す活動。

※近隣では中札内村から広尾町の「南十勝夢街道」がコースとして指定されている。



上野勝廣議員

問 上野議員

岩本町長は、就任当初から、「透明公正・誠実・町民との対話と協働」の3点を基本姿勢とし、更に財政の安定化を最大の課題として努めてこられたことは、結果が示している通りであり、理解している。当町の特性から水産業の振興はもとより、生活環境の整備・福祉と医療の充実など行政全般の推進に敬意を申し上げる。そして、昨年示された「えりも町総合戦略」（5力年）第6期えりも町総合計画（10力年）など、今後の推進に当たり極めて重大な時期を迎えている為、安定した町行政が求められている。岩本町長は、今日ま

問 来期の町政執行は

答 来期は出馬せず

で活躍されてこられた豊富な経験と実績、そして広い人脈を築かれており、山積する諸課題を解決し、安心安全な町づくりの舵取りを期待しているが、町長就任から今日までの町政執行についてどのように評価しているか。また、今後どのような町政執行に当たって行くのか。

答 町長

私は、昭和35年5月7日、当時の幌泉町職員に採用され、今日まで56年間で自治体に携わる者として、半世紀を過ぎたことに思いをあらたにしている。佐々木町長の退任を受け、平成17年6月、5代目えりも町長に就任することになり、1

期、2期を通じ、無投票当選を果たしたが、3期目は接戦の結果の当選であった。私が、えりも町長に就任することは、まさに青天のへきれきの感が強く、本当にわが町の舵取り役の任が果たせるかとの思いに日夜さいなまれ、その都度、私に町政を委ねた多くの町民の熱き思いと、長い行政経験を得た人間として、職員一丸となれば町民に幸せをもたらすことができることを確信し、1・2期と同様、3期目も「困難を克服する町政」の実現を目指すことを掲げ、町政運営に全力投球し、常に基本として、職員には自分の利益を追求するのではなく、町民に利益を還元するという思いで汗をかいて仕事

に励むよう求めてきた。そこで、今日までの町政執行についてどのように評価されているかとのことだが、町民の皆様や、議員各位にそれぞれの思いがあると思うが、5000人の人口を割りこんだ小さな町は、舵取り役を見誤り、行財政運営が少しでも行き止まれば、町は疲弊し、町民の不満が募っていく。私は幸いにして行財政実務担当の長い経験や、職員個々の素質や、仕事に励むことの教えを常に言い聞かせ、心を読みとることに苦勞を重ね、協力体制を構築してきた。そして、一党一派に偏ることなく、培われた人脈を生かしてきたことなどが、私自身誇れることだとも考え、そのことが今日まで誤りのない町政運営ができた要因だと考えている。

次に、今後どのような町政の執行に当たっていかうと考えておられるかとの質問だが、基本的にはこれまで述べた姿勢には変りはない。えりも町の町政運営の基本となすのは、えりも町総合計画が指針となるべきものであり、そのなかで、いくつか列挙すると、「複合施設の建設、えりも岬小・庶野小の学校給食、日高東部衛生組合のし尿処理施設の整備、庶野漁港整備、JR日高線問題、外科医師招聘、えりも岬レストハウス再建、日高山脈えりも国立公園への昇格、災害対策、漁業の振興、人口減少対策等々」、先のばしができるない案件がめじろ押しであり、大変厳しい町政運営を強いられるものである。

私は、3期目の出馬の際、幸い健康にも恵まれていたことを勘案し、出馬の決意をさせていた。そして、残る情熱のすべてを注ぎ、誤りのない町政の礎を築き、安心して引き継げる4年間でやりたいの思いを胸に3期目に臨んだ。しかし、昨年10月、予期せぬことに、検査入院の結果、病名を告知され、札幌の病院に入退院をくりかえすことになった。先にも述べたように、幸い健康にも恵まれていたとの話をしたが、突然の発病であっても、一部町民の間で健康に不安説をもったまま町政運営を続けることに批判があることは、よく承知している。そこで、結論として町民に体調に不安をいだかれていたこともあり、次期町長選挙に出馬しない決意をした。残された任期も残り僅かとなったが、このうちは、有終の美を飾るよう力の限り努力することを誓い、答弁とさせていただきます。

② 「森と湖の里ふれ愛館」の事業概要について

本施設は、豊似湖への観光客や町民など誰もが利用できる休憩室や飲食を提供できる場を整備し、幅広い方々に快適で充実した空間を提供しようと、旧目黒小中学校の一部を改修して、平成28年9月17日にオープンした施設である。当初、本施設では飲食業を営業する方を募集したが応募がなく、現在は町で採用した臨時職員2名体制で飲食の提供等を行っている。休憩室は2室あるが、来館者の流れを考慮して、休憩室1の方にすべての事業を集約したため、今後は休憩室2の有効活用を図っていく必要がある。次年度からは、4月の下旬、ゴールデンウィークに間に合うようにオープンしたい考えであると担当課から説明を受けた。

当該施設は、9月にオープンしたばかりの施設であり、運営のあり方等については、今後の状況をみながら、順次必要な整備・改善がなされていくものと思われるが、来年度に向けて、次の点について協議、検討願いたい。

- ①玄関の入り口が分かりにくく、お客さんを迎え入れる施設なので、案内の面でもう少し工夫願いたい。
- ②使えるものは出来る限り有効活用しようと、既存の黒板をメニュー表として活用しているようであるが、飲食を提供する場ということを考えると、チョークの使用は清潔感に欠けるのではないかと。チョークの粉が絶対に舞わないようにやっていたとしても、お客さんが「舞っていそう」と感じてしまえばマイナスイメージになることから、メニュー類は模造紙等を書いてはりだしてはどうか。また、テーブルにもメニュー表を置いてはどうか。
- ③事故防止のため、ヘリコプターが離着陸する場所を知らせるマークなど、何らかの目印が必要ではないか。
- ④玄関の横に自治会管理の納戸が設けられているが、来館者から室内が丸見えで、観光施設としての印象が悪くなる恐れがあるので対処願いたい。



【事業内容】

- ・地場産品を主とした飲食の提供販売、地域特産品の展示及び販売、観光に関する情報提供など。

【10月23日までの利用状況】

- ・入館者数 596人 (大人526名 小人41名 幼児29名)
- ・売上金額 426,390円 (1日平均11,524円)
- ・ヘリコプターの遊覧飛行は、9月17日から10月10日までの24日間

二常任委員会 所管事務調査

総務文教常任委員会 委員長 渡部泰
副委員長 笹谷廣喜 委員 川村一治
鈴木勇高 近藤一郎
産業民生常任委員会 委員長 大坂庄吉
副委員長 平野正男 委員 上野勝廣
石川昭彦 高松亮裕 議長 成田一人

①旧目黒小中学校改修工事について

本事業については、平成28年5月の所管事務調査において、既に改修内容等については担当課から説明を受けていたが、改修工事が完了したので現地調査を行った。予定されていた改修工事は、休憩室が2室、調理室、簡易水洗トイレ、バリアフリー工事であり、おおむね適正に施工されていたが、身障者用トイレの鏡と洗面器の位置が高く、車いす利用者にとっては使いにくいと思われるので、早期の改修について対処願いたい。



えりもの特産品のPRをしている休憩室

③風力発電施設の建設予定地について

斜里郡小清水町の株式会社キー中島商店から、風車を建設するために土地を借りたいとの相談を受け、その候補地として現在協議が進められている東洋地区の町有地及び事業概要について調査を行った。風車建設予定地は、東洋167番地の6と167番地の8で、一番近い民家までは約300m離れており風車の音はほとんど聞こえないレベルとなること、設備は小型の風力発電機（高さ32m、羽根の直径7.2m、出力1時間当たり10.4kw）2基、電気室1室、引き込み用の柱1本のほか風車を囲むフェンスを設置する予定であること、また、風車建設に伴う道道への支障はなく、航空自衛隊のレーダーへの影響もないことが確認されており、住民説明会も実施されていることから、町としては貸し付けを許可する方針で、平成29年5月の運転予定時期までに更に調整を進めていくとの説明を、担当課から受けた。

契約は今年5月を予定しているようであるが、契約締結の際には、道道の近くでの工事となるため、事故のないよう十分な配慮をさせるとともに、風車を建てた後の事故についても、設置者に責任を持って対応させるなど、事故等の責任の範囲が明確になるよう対処願いたい。また、会社の経営状況等によっては、将来的には契約が更新されない場合もあり得ることから、その場合においても完全な原状に復旧してから返納させるなど、町の負担となることがないように十分な対応策を考えた上で交渉を願う。



建設予定地から百人浜の風景
小型の風力発電に新たな期待

この人に聞く

環境省えりも自然保護官

蔵本洋介さん (27)



Q えりもの珍しい動植物は？

A ワシ・鷹の仲間の種類が豊富です。あとは、春にやってくるタンチョウや、低標高のナキウサギ、ルチシ山の植物が珍しいと思います。

Q えりものにきてうれしかったことは？

A 定置漁期間中に1か月以上毎日船に乗せてもらい漁業の厳しさ、大変さと共に魅力も学ぶことができた。これまで見たことなかった海の生物を見ることができ、とても勉強になりました。

今回の「この人に聞く」は、環境省・えりも自然保護官「よく遊び・よく食べる」蔵本洋介さん。えりも着任から2年が過ぎ仕事とプライベートともに、北海道の自然を満喫するライフスタイルから感じたことや、えりもの魅力などお伺いしてきました。(取材・近)

Q えりもの皆さんに何か一言。

A いつも優しくしてくださりありがとうございます。これからも顔を見かけたら声をかけてください！3年間いろいろなお世話になり「第二の故郷」になりました。えりもは、外から見ると美しく、うらやましいくらい自然環境に恵まれています。暮らしてみると厳しい自然条件の中で生活している地域だと身をもって感じました。これからもよろしく願います。



豊似岳から襟裳岬の風景

編集後記

新年おめでとうございます。今年元日からずっと風もそれほどなく、好天に恵まれ例年のない穏やかな西年の始まりとなりました。

去年は各地で色々な災害が発生し、甚大な被害を被りました。皆様良くご承知の通りでございます。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。人は鳥のように空を飛ぶことはできませんが、想像で高いところから地上を見渡す広い視野を持つことはできます。広報・広聴常任委員会も、委員一同愛される誌面作りのため努力を重ねてまいります。今年も皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう心よりご祈念申し上げます。(川)

広報広聴常任委員会委員

- 委員長 高松 亮裕
- 副委員長 近藤 一郎
- 委員 川村 一治
- 石川 昭彦
- 大坂 庄吉

議会の動き

11月3日	えりも町功労者表彰式
11月11日	第7回子ども議会
11月25日	第4回臨時会
12月9日	議会運営委員会
12月16日	全員協議会 第5回定例会 広報広聴常任委員会
12月21日	日高東部消防組合議会 日高東部衛生組合議会
1月5日	えりも町消防団出初式
1月8日	広報広聴常任委員会 成人式
1月17日	広報広聴常任委員会
2月1日	日高地区交通災害共済 組合議会定例会

Q えりもに着任されて3年目になりますが、東京生まれの蔵本さんにとってえりもの魅力は？

A 雪が少なく夏涼しいですね。地域の繋がりが強く、お祭りが盛り上がることや、身近に大自然があることです。あとは、なんといいっても山の幸や海の幸が豊かで魚が全ておいしい事ですね。